

花高野球部通信

発行日
令和6年9月18日
第41号(監督)

10名で戦った秋

新チーム発足から今大会まで、9名で夏の練習、練習試合を乗り越えてきました。チーム発足時は試合にならないような状態が続きましたが、徐々にアウトをとれる、点数をとれるようになってきました。大会前に助っ人を1名入れ、10名で大会に臨みました。

初戦の一関第一高校とは、0対11の5回コールド負け。圧倒的な力の差を感じる初戦でした。試合後のミーティングでは次戦に向けて、一人一人が今日出した力より1割プラスの力を出す。そのためには何をすればよいかを確認しました。

敗者復活1回戦は一関工業。初戦と違い、5回まで2対4と粘りを見せ、後半につながる展開をつくりました。6回以降、これまでの粘りが攻撃にもつながり、2点2点1点1点と毎回得点し、8対5で勝利することが出来ました。

敗者復活2回戦は水沢工業との対戦。力の差がはっきりと出た試合となり、1対16で敗戦。体格や打球スピード、守備の安定感と全てにおいて劣っていることを実感した試合でした。

再び敗者として下のやぐらに降り、千厩高校と対戦。序盤は相手からもらったランナーを確実に進塁させ、ヒットは少ないながらも得点し優位に進めていきましたが、守備のミスや連打も続き逆転されました。9回ワンアウトから粘りを見せ2点追加するも、5対8で敗れました。

今大会は選手9名が4試合を完遂したこと、公式戦で1試合勝利をあげたこと、投手不在の中、投げ抜く力がついたこと、助っ人の選手がベンチで大声を上げ、選手に激励していたこと等、様々な成長が見られました。しかし、他校と比較したときに、力の差があることがはつきりとわかる大会でもありました。この秋から来春に向けて、他校と対等に戦うためにも、心技体の全てにおいて成長をしなければなりません。例年以上に時間をかけ、一人一人の意識改革を図り、夏の勝利に向けて動き出します。温かいご声援よろしくお願いたします。

9月より トレーニング シーズンイン



単独出場のごこだわり

花泉高校は各学年40名、計120名定員で現在在籍する生徒は84名です。(うち、男子生徒は42名。)3年生も入れると16名が野球部員であり、全校男子生徒の約40%が野球部員です。

岩手県内の高校を見ると1学級定員の高校で単独を組んでいるのは花泉高校のみとなりました。年々、連合チームが増えてきている中、単独チームとして出場することにこだわりを持ち、その中で勝利を挙げることの喜びを感じています。

本校野球部はこの先も単独出場にこだわり、試合で勝利することで地域に更なる活力を与えることが出来るよう頑張ります。地域の皆様も是非、球場や学校に足を運んでいただき、応援していただけると幸いです。よろしくお願いたします。

★練習試合結果★

7月20日	対一関第二	●	3-14
7月31日	対一関第一	●	8-12
8月1日	対盛岡誠桜B	○	8-4
8月4日	対花巻南	●	2-10
	対仙台第三	●	2-9
8月6日	対気仙沼向洋連合	○	9-5
8月8日	対県南連合	●	5-7
8月11日	対古川	○	13-8
		●	1-6
8月18日	対白石	○	7-4
	対仙台第二	●	3-6